

## 在京白聖会総会

5月13日 東京グリーンパレスで開催  
～世代をつなぐ架け橋に～ '07「在京白聖会総会」

今年の在京白聖会総会は、母校創立記念日の5月13日、東京グリーンパレス(千代田区二番町)で開催されます。幹事は昭和50年卒の皆さん。当日は紫波町の銘酒「堀の井」の鏡開きや、「大運動会および応援風景」のスライドショーなどもあります。皆さん、ふるってご参加下さい。

今年で39回目を迎える在京白聖会総会の幹事を担当させてい



ただきます昭和50年卒です。昭和のほぼ真ん中に生まれたせいでしょうか、世代をつなぐ架け橋にならん、などと勝手に思いつつ、新たな趣向で臨みます。主な企画は以下のとおりです。懇親会の冒頭では紫波町は高橋酒造のご協力で「堀の井」鏡開き。引き続きまして、「大運動会および応援風景写真のスライドショー」をバックグラウンドにご歓談のひと時を。今年はこの「ひと時」がメインイベントです。年次ごとに旧交を温めるもよし、PRに使うもよし。皆様の長時間としてご利用ください。宴会場に隣接した別会場では、佐藤容齋、三浦千波による



「書と絵画の展示および解説トーク」を併催いたします。こちららもぜひご覧ください。なお、

## 第22号

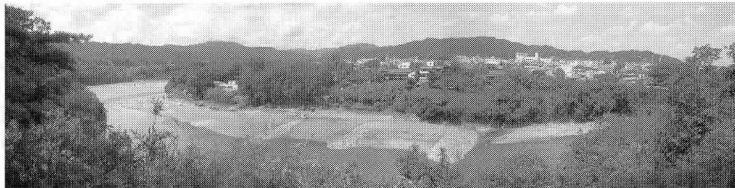
平成19年3月24日

発行

在京白聖会  
(事務局)〒105-0003 東京都港区  
西新橋1-17-11  
リバティ11ビル8F玉澤健児税理士事務所 内  
TEL&FAX.03-3501-1391(直通)  
<http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm>

## 「中世城郭探訪の集い」第1回イベント 4月7日(土)「鉢形城址見学会」実施

中世城郭探訪を趣味としている在京白聖会事務局員が解説しながら案内します。  
※鉢形城は、天正18年(1590)の秀吉による北條氏攻めに際し、1カ月の籠城戦の末に陥落するまで、北関東における北條氏支配の拠点の一つだった規模の雄大な城郭です。皆さんが見慣れた近世の城である石垣造りの天守閣のある城ではなくて、それ以前の土で出来た城とはどのようなものだったのか、ということが理解できる格好の城です。



お招きする先生は、安藤先生、沢藤先生、原先生の予定です。インターネットで調べてみると、1880(明治13)年5月13日は木曜日だったようですが、今年の5月13日は日曜日。母校創立以来、46385日目のこの日。時間も13時から16時とさせていただきます。今までなかなか都合がつかなかった方も、ぜひ今年はお出向くださいますようお願いいたします。多数のご参加を心からお待ちしております。

(50年卒幹事一同)

## ●「鉢形城址見学」実施要項

在京白聖会文化活動の一環として、次の要領で実施します。奮ってご参加下さい。

■期日 4月7日(土)(雨天中止…参加者には個別に連絡します)

■見学先 国指定史跡 鉢形城跡(埼玉県寄居町)

■集合場所 東武東上線池袋駅南改札口切符売場付近(地上階)

■集合時刻 午前8時

■行動 08:18池袋駅発車→09:46玉淀駅下車→荒川河畔→鉢形城歴史館・寄居町埋蔵文化財センター見学→城跡見学→15:00頃寄居駅前にて解散(歩行距離・約5km)。

なお、荒川河畔(名勝「玉淀」)では宮沢賢治の歌碑に立ち寄ります。(解散後、寄居駅前にて有志による懇親会)

■経費 往復の交通費及び昼食代は自弁

■服装 ハイキングができる服装

■申込 在京白聖会事務局に前日までに申込み(電話・FAX・Eメール等)下さい。参加は在京白聖会非会員でも構いません。

お願い 会費未納の方は、同封の振替用紙で会費二、〇〇〇円をお振込み願います。

## 特別寄稿

## 生きる勇氣と感動を提供し続けて

財団法人東京交響楽団評議員・事務室長 中塚 博則 (S48卒)

私は、昭和48年卒です。東京交響楽団事務局に勤務して20年になります。過日「芸術鑑賞クラブ」ができたことを知りまして、芸術活動に携わる者としてうれしい限りです。

日本にオーケストラ音楽が入ってきて100年余りですが、現在日本オーケストラ連盟には26のプロ団体が加盟するまでになりました。日本の芸術・文化の一翼を担い、世界に通用するものに成長してきています。

東京交響楽団は、創立61周年を迎えた日本で3番目に古いオーケストラです。

第1期の黄金時代は1951年から1964年までです。世界の有名指揮者やソリストを招聘し、文部大臣賞等もいただきました。

その後、不況の影響を受け財団法人を解散しましたが、楽団員の音楽に対する情熱は強く、多くの支持や声援に励まされて翌年には定期演奏会を再開しました。厳しい社会環境にありながら、常に高度な演奏を志向し積極的な演奏活動を続けてきました。

その中でヴァイオリン奏者か

ら新しいリーダーが出て、財団法人の復活、大スポンサーの獲得と力を発揮し、1989年からの第2期黄金時代を築きました。毎年、大型企画に取り組み、著名な賞を次々にいただくよう

になりました。現在もチャレンジ精神に富んだプログラミングと演奏で、多くの聴衆の支持を得るために努力しています。海外公演は昨年の中国公演も

含め17カ国69公演になります。2004年より川崎市のフランチャイズオーケストラとして音響の優れたミューザ川崎シンフォニーホールにて練習と本番を多く行っており、一層音に磨きがかかってきました。

主催する定期公演としてはサントリーホール定期演奏会、東京芸術劇場シリーズ、東京オペラシティシリーズ、川崎定期演奏会、こども定期演奏会を行っています。

「文化は国家の魂であり、芸術は文化の極みである」ことを信じ、人々に生きる勇氣や癒しをもたらす感動を提供できる演奏会をひとつでも多く作りたいと考えています。

是非、一度東京交響楽団の演奏をお聴き下さい。

## 在京「白聖會」会員と関係者の皆様へ 東京交響楽団演奏会 入場券10%割引販売のご案内

中塚さんから、在京白聖会員の皆様へ特別割引きプレゼントです。

出向いてチケットを購入する必要はありません。

割引料金で、チケットが入手できます。

お気軽に御利用ください。

- ①お申込み：お電話(044-520-1511)で  
TOKYO SYMPHONY チケットセンターへ  
(平日10:00~18:00 土曜10:00~14:00)
- ②入場券のお渡し：郵便振替用紙を添えて、ご希望の場所へ郵送。  
(送料は楽団負担)
- ③お支払い：入場券を受取りましたら、コンビニエンスストアか郵便局で。(振込手数料は楽団負担)
- ④その他：申込時に必ず「在京『白聖會』」会員又はその関係者であることをお知らせ下さい。そうでないと割引になりません。

ご希望の演奏会の前日までにお申し込み下さい。

- ⑤対象となる演奏会：東京交響楽団が主催するコンサート
- |        |               |       |
|--------|---------------|-------|
| ☆定期演奏会 | サントリーホール定期演奏会 | 10回   |
|        | 東京芸術劇場シリーズ    | 4回    |
|        | 東京オペラシティシリーズ  | 6回    |
|        | 川崎定期演奏会       | 4回 ほか |
- <コンサートの詳細等は> <http://www.tokyosymphony.com>

ミューザ川崎シンフォニーホールにて



## 36年卒コンビ 阿部正樹脚色・立花一男演出 俳優座公演

## 「江戸の極楽とんぼ」7月16・25日上演

脚色・上田次郎(本名・阿部正樹 IBC社長、演出・立花一男(俳優座)の36年卒演劇部出身コンビが7月、俳優座(六本木)で「江戸の極楽とんぼ」を上演する。内容は、浄瑠璃好きの江戸の小間物問屋が弟子と一緒に盛岡に行った時の艶っぽい物語で、盛岡弁での公演。白聖会員は1割引の特典もある。7月はなつかしい、ふるさとの訛りを聴きに、六本木に大集合だ!

秋田に「無明舎」という出版社がある。「江戸の極楽とんぼ」はそこから出た。

幕末期の实在した旅芸人の日記を現代語訳したものだ。それを元に発表の当てもなく脚本を書いた。

芸人は盛岡八幡の目明しの家に止宿し、近くの蕨張りの小屋で浄瑠璃興行して大金を稼いだ。不埒にも大仰な偽名を使ったものの後ではれる。いい加減

なのだ。遊び心に溢れ書く作業そのものは楽しいものだった。

ある日、友人の立花一男(S36・演劇部同期)からメールが来た。「面白い本はねーか」「じゃ、読んでみる」ということで送った。立花君は俳優座の企画を通し初演出となった。

「年間五本しか本公演は無いんだ、通ったのは俺の力だ」と立花はえびった。思わぬ展開だった。幸運も感じた。

## 公演日程

はじめは男優一人だけで、女役も含め何役も早代わりする本であったが、役者が死ぬとのことで、4人となった。伊達弁、盛岡弁が行きかう。後は切符が売れることを願うだけだ。

阿部正樹(S36・演劇部)

◆公演期間 2007年7月16

日(月・祝)〜7月25日(水)

◆公演会場 劇団俳優座5階

稽古場(客席数100席予定)

港区六本木4ノ9ノ2

◆開演時間 昼11:30(16・19・

20・21・22・24・25日)

夜6:30(17・18・20・23日)

◆前売開始日 6月4日(月)

◆料金 一般5000円/学生

3500円(全席指定・各税込)

## 白聖会員割引

◆立花一男扱い 4500円

(俳優座に「立花一男扱い」の旨電話で申込むと1割引となる)

03・3405・4743

◆一ステージ30名以上なら団体割引(15・20%)

## TOPICS

「在京白聖会ホームページ」その他から、白聖関係の最近の話題を拾ってみました。

## ●野田真理子さん(S43卒)

## 歴史文学賞を受賞

野田真理子さんが、新人物往来社主催の平成18年度第31回「歴史文学賞」を受賞しました。受賞作のタイトルは「孤軍の城」。戦国の動乱に翻弄される織田信長の叔母の数奇な運命を綴ったものです。受賞作は「歴史読本」2007年2月号に掲載されています。

## ●馬場勝彦さん(S35卒)

## 「もりおかのカキ大将」

盛岡市民福祉バンクなどを設立した馬場勝彦さんは、2004年に63歳で亡くなられましたが、故人を忍び馬場勝彦追悼出版実行委員会(代表・村井政吉氏)が「もりおかのカキ大将」と題する本を昨年8月に上梓しました(杜陵高速印刷出版部/定価税込1680円)。

馬場勝彦氏について在京白聖会前会長及川昭伍さん(S25卒)は、在京白聖会掲示板に以下のようなコメントを寄せています。

馬場勝彦君について、永六輔は、「盛岡に馬場勝彦という男がいた……と誰かがその名前を口にする間は、馬場勝彦は生きている。」という一文を寄せた。馬場君は、(中略)盛

岡に新しい風を起こした快男児だった。(中略)盛岡を愛し、盛岡に生きた馬場君の生前の講演などが一冊の本になった。永六輔、秋山ちえ子、さとう宗幸、伊奈かつぺいなどの長年の応援団や盛岡の大勢の仲間たちのメッセージもものっている。この本も一読をお奨めしたい。



## ●太田愛人さん(S20卒)

## 『武士道』を読む」上梓

太田愛人さんが、昨年12月、平凡社新書から『武士道』を読む―新渡戸稲造と「敗者」の精神史―(定価税込819円)を上梓しました。

藤原正彦氏の『国家の品格』などで『武士道』が注目を浴びていますが、牧師でもある著者が戊辰戦争の「敗者」である南部藩の精神と「キリスト教」の視点から新渡戸の名著『武士道』の新しい読み方を提示。「白聖の先輩を含めて多くの南部人士が登場し、白聖会員に一読をお奨め」(同・及川昭伍前会長のコメント)という本です。



「江戸の極楽とんぼ」公演ポスター

## クラブ活動のお知らせ

## 第3回在京白聖レディス会

6月23日(土)開催 参加者募集

第3回目を迎える在京白聖レディス会。初回の一昨年は36名、2回目の昨年が44名と、回を重ねるごとに盛会になっています。人気の理由は「出席しても夕方までに帰宅できる」「女子同士なので話がはずんで楽しい」etc. あなたもぜひ、この楽しい女子の輪に加わって下さい。

## 〈開催要領〉

●日時 平成19年6月23日(土)

12時～14時

●会場 大森東急イン

(京浜東北線大森駅ビル内 中央改札口)

TEL 03 (3768) 0109

●会費 5千円

当日はフードアドバイザーの香村央子さん(昭30年卒)の「スパイスよもやま話」の楽しい講演とお食事をしながら、出席者皆様との歓談を予定しております。在京及び関東在住のOGの皆様の参加をお待ちしています。

参加ご希望の方は左記担当幹事まで、住所、氏名、卒業年度、電話(FAX)番号を、電話またはFAXにて6月10日までにご連絡ください。

〈担当幹事(昭30卒)〉

・中塚慶子

TEL&amp;FAX 03 (3461) 4960

・茂尾紀子 042 (363) 5646

・小林敦子 03 (5430) 7423



昨年7月2日に行われた「第2回在京白聖レディス会」参加者

## 白聖五行歌会参加者随時募集中

白聖五行歌会は、今年3月から毎月第1金曜日に変更しました。午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420山田(42年卒・白聖五行歌会代表)まで。メールはsakuraco@leaf.ocn.ne.jp



卒)、渡辺智子さん(父親が白聖S48卒)が加わり、珍しい三連弾演奏は他に松岡淳さん(H1

●芸術鑑賞クラブ「eggs」クリスマスコンサート開催  
昨年12月12日(火)、在京白聖会芸術鑑賞クラブ「ル・サロン・ブラン」の主催で、森知英さん(S63卒)のクリスマスピアノコンサートをカワイ表参道店2階「パウゼ」で開催しました。

なども披露。演奏終了後は、一緒にパーティーで歓談し、楽しい年末のひと時を過ごしました。芸術鑑賞クラブ「ル・サロン・ブラン」は、今年も趣向を変えたイベントを企画し、ご案内いたしますので、ご期待下さい。

## ●第4回在京白聖ゴルフ大会

年次対抗戦は50年卒優勝  
昨年11月17日(金)、第4回在京白聖会ゴルフ大会が「ザ・ゴ



年次対抗で優勝した50年卒チーム(右から佐々木、山影、田村、水原の各氏。左端は馬場会長)

やたらに暖かい  
温暖化のせい？  
と怒ってみても  
身体は正直  
楽だと言っている

三浦千波(50年卒)

ブルーな人生を  
ハッピーにするには  
魔術師に頼らず  
彩り豊かな

画家になることだ

伊奈 裕(38年卒)

寒空に  
健気にふくらみ始めた  
桜のつぼみ  
ただひたすらに  
春を待つ

ろろち(42年卒)

子供がいる  
街にほっとする  
犬猫鳥が寄ってくる  
街のぬくもりを  
今感じている

光 平(31年卒)

※作者名はペンネームの方もいます。

## 編集後記

在京白聖会のクラブ活動が活発になり、行事も多くなりました。団塊の世代が退職する2007年問題は、文化活動の活性化となつて新たな活力を生み出しているようです。新しい世界にまず一歩踏み出すこと。白聖会はあなたの一歩、大歓迎です。



佐々木喬さん  
(S36卒) 写真が栄冠に輝きました。



ルフクラブ竜ヶ崎」で行われ、年次対抗団体戦は、今年の総会幹事年次の50年卒チームが初優勝しました。個人の部優勝は